

具体的な取組の柱

事項	具体的取組	主な内容	気象庁	山形県	小国町
1) ハード対策の主な取組					
■洪水を河川内で安全に流す対策					
	<最上川上流> ・河道掘削 ・河道内樹木伐採	・河道掘削、河道内樹木伐採	-	・流下能力向上計画策定実施【実施中】	-
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
	・山形県防災情報システムを活用した、避難状況、被害状況、水防活動状況等の伝達と共有基盤の整備	・防災関係機関における災害情報共有のためのシステム整備	-	・防災情報システムを構築し、自治体の操作訓練を実施【実施中】	・庁舎に情報システム端末を設置し、操作訓練を実施【実施中】
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布等の複数手段による情報伝達体制の確保	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	-	-	・防災行政無線システム整備【H28年度実施中】
	・水防活動を支援するための水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための水防資機材等の配備	-	・水防資機材等の備蓄、点検、最新資機材導入を検討【実施中・H29年度～】	・工のう、合羽、救命胴衣、救助用半長靴等の整備【実施中】
	・リスクが高い箇所及び河川水位等を監視するための簡易水位計等の整備	・量水標の設置 ・簡易水位計等の整備検討	-	・主要河川に水位危険度レベルを表示した量水標設置及び簡易水位計等の整備を検討【H28年度～】	-
2) ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組					
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等					
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	・洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定・公表	-	・水位周知河川と河川における浸水想定区域図等の公表【H30年度以降】	-
	・広域避難計画および広域避難を考慮したハザードマップの策定・周知	・広域避難計画（案）の策定（必要性の検討を含む） ・想定最大外力にちもついた洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定する（想定最大外力の浸水想定区域図の公表後）	-	-	・必要性を含め今後検討【今後必要性を検討】 ・洪水ハザードマップを策定【今後予定】
	・より実践的な避難訓練の実施、要配慮者利用施設の避難計画の作成および避難訓練について、関係機関の支援検討	・想定最大規模の洪水に対し、要配慮者利用施設の避難確保計画策定および避難訓練に対する関係機関の支援検討	-	・町と連携して支援策を検討【今後予定】	・県と連携して支援策を検討【今後予定】
■適切な避難勧告の発令に備えた整備					
	・避難勧告等の発令基準・区域の設定および設定水位の検証	・想定浸水深の深い地域や家屋倒壊危険区域などを考慮し、避難勧告等を発令すべき区域と基準を事前に設定する ・設定水位の検証を実施	-	・設定水位の検証を実施【今後実施】	・判断基準を設定【今後実施】
■避難勧告の発令に着目したタイムライン					
	・避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定、及び実践に即した検証	・現在試行段階であるタイムラインを検証し見直しを図っていく ・チェックリストを活用したタイムラインを策定する	県、市町と協同し策定を支援【今後予定】	・「大規模風水害（台風の接近あるいは通過）に備えた山形県庁防災行動計画（タイムライン）」を策定【今後予定】	・県と共同して作成【今後予定】
	・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施、もしくは検討を行う	・自治体訓練への参加や支援【H28年度～】	・訓練等への参加や支援【実施中】	・訓練等への参加【実施中】
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	・警報等における危険度の色分け表示「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化【H29年度出水期～】 1. 「大雨警報（浸水害）」の危険度分布及び「洪水警報の危険度分布」の提供 2. 大雨警報・洪水警報及び大雨特別警報の改善の実施	-	-
	・ホットラインによる確実な気象、水害情報の伝達と助言およびホットラインの活用	・電話によるホットライン実施 ・携帯メール版のホットライン実施	・電話による首長への雨量等の気象情報の伝達【実施中】	・電話による首長への水位情報等の伝達【実施中】	・情報提供の依頼【実施中】
■防災教育や防災知識の普及					
	・水災害の防災知識の普及啓発および問い合わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口を設置する	・関係機関と連携し効果的な対応を検討する【H28年度～】	・問合せ窓口の設置 ・防災知識の普及【H28年度～】	・問合せ窓口の設置 ・防災知識の普及【H28年度～】
	・防災教育の推進	・授業を実施する前に担当教員にも水災害の知識を身につけていただくための講習会を実施する ・小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく ・防災講座、出前講座等で健全な水循環を構築することの大切さを啓発する	・教育委員会と連携し効果的な対応を検討【実施中】	・学校担当課と調整し、実施を検討していく【今後実施】	・学校担当課と調整し、実施を検討していく【今後実施】
	・羽越水害から50年を契機とした、洪水に対する防災意識、逃げる意識の向上	・事前行事、広報活動、50年シンポジウム等による啓発活動の実施	-	・事前行事、広報活動、50年シンポジウム等による啓発活動の実施【H28年度～H29年度】	・事前行事、広報活動、50年シンポジウム等による啓発活動の実施【H28年度～H29年度】
	・ブッシュ型の情報発信	・ブッシュ型による情報発信の実施	-	・「山形県河川・砂防情報システム」によるメール配信サービス【実施中】	-
2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組					
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化					
	・水防団との連絡体制および近隣の水防団間の連絡体制の確保と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施 ・近隣の水防団の連絡体制の確保	-	-	・近隣水防団との連絡体制を確保する【今後予定】
	・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・毎年、国が実施している重要水防団所等の共同点検に参加	-	・毎年、出水期前に重要水防団所合同点検を実施【今後予定】	・県と共同で実施【今後予定】
	・関係機関が連携した実働水防訓練の実施（国、県、複数の市町が参加する訓練）	・水防管理団体が行う訓練への参加（関係機関が連携した訓練を実施しているか）	-	・市町村が実施する水防訓練への支援（訓練ヤード、諸資材等）【実施中】	・水防訓練の実施【実施中】
	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定および水防支援体制の検討	・広報紙やホームページ等で広く募集していく ・事業所等の参画を求める ・地域の建設業者も組み込んだ水防支援体制の検討を実施し、構築する	-	-	・地域の建設業者も組み込んだ水防支援体制の検討【今後予定】
	・時代に即した水防工法の採用による水防活動の効率化の推進	・水防技術伝承のための講座の実施 ・少人数でも可能な水防工法の検討 ・現場に即した水防工法の検討 ・最新の水防工法の動向調査	-	・水防技術伝承のための講座の実施【H28年度～】	・水防技術伝承のための講座の実施【H28年度～】
2) ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組					
■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施					
	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）を作成	・排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）を作成	-	・流域の全体計画策定への協力【H28年度～】	・流域の全体計画策定への協力【H28年度～】
	・排水計画に基づく排水訓練の実施	・排水計画に基づく排水訓練の検討および実施	-	・自治体訓練への参加や支援【今後予定】	・計画に基づく訓練への参加【今後予定】
2) ソフト対策の主な取組 ④その他					
■災害復旧の支援体制の強化および災害情報の共有					
	・山形県建設技術センターの災害復旧初期支援の活用	-	-	・山形県建設技術センターによる災害復旧初期支援の活用推進【活用可】	【活用可】
	・毎年、県主催の災害復旧事業担当職員研修会を実施	-	-	・災害復旧事業担当者研修会を実施【活用可】	【活用可】